

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 3 月 3 日作成)

小委員会名	教育施設小委員会	主 査 名：寺嶋 修康 就任年月：2006 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会	委員長名：布野修司
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・幼・小・中学校から生涯学習施設におよぶ教育施設を対象に、計画・研究の将来の動向や現状について多角的な討論ができる場を設定 ・2005 年度は学級・教室のあり方。2006 年度は小中一貫校・補助金制度・学校計画研究の歴史などをテーマ。2007 年度は中高一貫校・改修・学校用家具など 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：あり 寺嶋修康(アルコム)、宮本文人(東工大)、吉村彰(東京電機大)、諸貫幹夫(巴コーポレーション)、飯島祥二(NUK 建築計画事務所)、石川恒夫(前橋工科大)、伊藤俊介(東京電機大)、倉斗綾子(首都大)、堀井啓幸(山梨大)、屋敷和佳(教育政策研究所)、笠井尚(中部大)柳澤要(千葉大)山口勝巳(武蔵工大)	
設置 WG (WG 名：目的)	教育施設小委員会WG： シンポジウムに向けての資料収集、新しい教育施設計画事例の収集、教育施設に関する研究の収集を行う。またこれまで製作したデータベース化の継続を行うため、大学院生や若手設計者も入れたワーキンググループを組織する。	
2006 年度予算	220000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	10 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. シンポジウム 学校の設計に「教科書」は必要か 参加者数 40 名 会場 武蔵野市立大野田小学校 2007 年 2 月 10 日 資料 同上 2. 海陽学園・同志社小学校・立命館小学校・大阪教育大学付属池田小学校見学会 参加者数 50 名 2006 年 7 月 18 日 19 日
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	委員会で議論されてきた今後の教育・施設のあり方・諸課題に関して、2 月のシンポジウムで学会会員以外にも広く発信。内容は雑誌「スクールアメニティ」にも特集として掲載される予定である。
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	冬に予定していた事例見学会(北陸)が実施できなかったなど、予定していたすべての計画をこなせなかった点もあるが、シンポジウム開催など当初目標とした成果はほぼ達成。
委員会活動の問題点・課題	今後は本年のシンポジウム等を受け、学校建築計画についての歴史をまとめできたら出版をめざしたい。

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。